

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ビリーブ諸岡		令和 7年 3月 4日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		学習のスペースと遊びの環境を分けられるように工夫している。低学年、高学年で下校時間が異なるため、後から帰ってきた児童も静かな場所で学習に取り組みできるように2階などの部屋も利用している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		配置基準通りに設置出来ている。常勤・非常勤のスタッフを含め、1日の平均で5名以上職員を配置するようにしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		車椅子、体に不自由である児がないこと、借家であり、大幅なバリアフリー化は行ってはいるが、危険箇所や注意が必要な場所は統一して把握している。また、危険箇所には利用者が視覚で認識できるようにバツ印を貼るなどして視覚化をしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		エアコンや加湿器などを使用し気温や湿度の調節を行っている。また、活動に合わせて机や椅子の配置を変えたりなどして、過ごしやすい環境づくりをしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		学習や気持ちが悪くない際、体調不良の場合等必要な場合には個別の部屋を使用できるように環境の整備を行っている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		定期的な会議の中で意見を出し合い改善点を見直している。また個別の取り組みとして来年度に向けた評価表の記入を行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		アンケート結果を取りまとめ、事業所のHPにて公開している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		全体ミーティング、各号館のミーティングに加え、長期休暇後は反省会を行っている。その中で意見を出し合い、業務改善に繋げている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		改善できるところは話し合っ、工夫するように考えている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修委員会を設置し、定められた年間計画に基づき、研修会を開いている。随時、時事的な内容の研修も取り入れている。	
適	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		総合的な支援の提供(5領域)を反映させた支援プログラムを作成している。保護者の方には毎月お渡しする予約表や後日詳細を通してお伝えしている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		モニタリングや担当者会議にて利用児童の目標や課題の見直しを行っている。また、成長した点や頑張っている点の共有も行っている。高学年や中高生になると本人とも面談を行い、目標の見直しに反映させることも取り入れている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援の内容や方向性を職員間で共有し、課題の共通理解や支援の見直しを行うことでこどもの最善の利益を考慮した計画となるように取り組んでいる。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画が更新された際には口頭又はパソコンやファイルの閲覧により共有を行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		毎日の連絡帳の記載に加え、特記事項がある場合には用紙に記載して連絡帳に残し、継続した支援が行えるように取りくんでいる。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		利用児童の課題や目標を多角的にとらえ、それぞれの項目での支援内容の設定を行っている。また、定期的な支援内容の見直しを行っている。	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ビリーブ諸岡		令和 7年 3月 4日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		イベント毎の達成度や日々の様子を踏まえて話し合いを行い、活動プログラムの内容を月毎で検討を行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		ひと月の中に同じイベントが重複しないように工夫して計画を立てている。利用児童のニーズに合わせたり、保護者の方からの意見を反映させたりしながら、プログラムのレベルや実施方法等の調整を行っている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別に手先つかうものや計算能力を高めるような個別の活動、気持ちの切り替えやコミュニケーションを必要とするような集団での活動を組み合わせて支援を行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		朝と昼にパートも含め、ミーティングを行い、全号館の職員間で情報共有している。特に休日イベントでは、職員全員で1日の流れを確認し、臨機応変に支援している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		その日のイベント担当者が日報の記入を行い、記録を残している。保護者とのやり取りや、利用児童の様子の手紙の申し込みを支援終了後に行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日報を用い、記録を残している。また利用児童に関する特記事項がある場合には用紙に記載して連絡帳に綴じて記録を残している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		半年に一度のモニタリングを行い、ご家庭との連携を取っている。必要な場合は毎月又は3カ月毎など期間を短くしてモニタリングを行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>		4つの基本活動について検討し、支援内容が適当であるかを検討しながら、偏りがないように複数を組み合わせて取り入れている。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		活動の内容を自分で選択する機会やおやつの中には決められた金額内で自分で食べたいものを選択する等、自己決定をする力を育てるための支援を取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		基本的には児発管が出席しているが状況や必要に応じて関わりのある職員が参加している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		保護者の方からの相談や要望に応じて、事業所での過ごし方や様子を医療機関等に対し情報提供を行っている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		基本的には保護者を通して情報共有を行っている。緊急時など場合によっては、学校の先生と直接情報共有を行なっている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		保育所等に訪問し、実際の活動の様子や気を付けていた事などを聞かせていただき、支援内容に反映させることを必要に応じて行っている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて体験時などに同行している。また、移行後も様子を見に訪問させていただいている。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		研修などを開催される場合に事業所内から数名参加させていただき、研修内容をミーティングの際に共有を行っている。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		コロナ禍やインフルエンザなどの感染症の流行もあつたためできていない。	今後検討していく。
33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		研修会やネットワーク会議に参加している。ケースによっては、基幹相談支援センターと連携して支援を行っている。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ビリーブ諸岡		令和 7年 3月 4日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	34	<input type="radio"/>		利用日は送迎の際にその日の様子や状況をお伝えさせていただいている。課題についても主に担当者会議やモニタリングで保護者の方との話をし、共通理解を図っている。	
	35	<input type="radio"/>		必要と思われるご家庭には、支援方法の提供を行ったり、職員が協力しながらサポートを行っている。	
保護者への説明等	36	<input type="radio"/>		見学や契約時に必ず書面や事例を用いて説明しご理解をいただいている。 利用開始後に運営規定やサービス内容について保護者より問い合わせがある時には、その都度書面等を用いてご理解いただけるよう説明を行っている。	
	37	<input type="radio"/>		モニタリングや、担当者会議の際に定期的な情報の共有を行い保護者の方の考えや方向性を聞かせていただき、支援内容に取り入れる。理解度や必要に応じて直接本人と話し計画を見直すこともある。	
	38	<input type="radio"/>		計画を示しながら支援内容の説明を行い、モニタリング・個別支援計画にサインをいただいている。	
	39	<input type="radio"/>		ご相談をいただいた際は、その場でお応えできるもの、一度検討が必要なもの等に分けその都度対応させていただいている。その内容を職員間でも共有し周知を行っている。	
	40	<input type="radio"/>		コロナ等も落ち着いてきたため、昨年度から保護者会を開催し、保護者同士の交流を図り事業所での様子を知ってもらう機会を設けている。	
	41	<input type="radio"/>		苦情があった際には真摯に受け止め担当者や管理者に報告し、迅速に対応できるような体制を整えている。又、再発防止の徹底のため職員間で情報共有し、安心して利用していただけるよう努めている。	
	42	<input type="radio"/>		活動の様子については定期的にHPのブログにて公開している。利用者には日頃の活動写真の配布を行っている。	
	43	<input type="radio"/>		個人情報漏洩防止の為、社外への持ち出しは禁止している。また、就業時の誓約書や規定などでも注意喚起している。さらに、令和4年4月施行の改正個人情報保護法に対応した施策（新たな保険の加入など）を行っている。	
	44	<input type="radio"/>		必要に合わせて視覚的ツールを使用したり、お知らせの内容によっては記録として残るようにメールを使用したりしている。行き違いがありそうな場合には確認を行い確実に伝えられるようにしている。	
	45	<input type="radio"/>			現状として地域住民を招待しての行事は行えていないため今後検討していく。
	46	<input type="radio"/>		各マニュアルはご家庭に配布をし周知を行っている。訓練に関しては研修担当を中心に年間計画をたて地震、火災などそれぞれを想定して定期的に行っている。	
	47	<input type="radio"/>		策定したBCPの内容を職員間で共有している。そのうえで内容に基づいて訓練を行っている。	
	48	<input type="radio"/>		利用開始前にアセスメントシートを用いて服薬・予防接種・てんかんの有無についての確認を行い、必要な対応を周知している。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ビリーブ諸岡		令和 7年 3月 4日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		食物アレルギーのお子様に対しては基本的に食品の提供は行わず、必要に応じて保護者の許可を得て対応を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		策定した安全計画の内容を職員間で共有している。そのうえで内容に基づいて訓練や支援を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		安全計画の資料を配布させていただき、保護者の方への周知を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットが起きた際にはミーティングにて経緯の説明を行い、考えられる対策や対応を職員間で出し合い再発防止に向けての取り組みを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		虐待防止委員会を設置して、定期的に委員会や研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		身体拘束適正化委員会を設け身体拘束について組織的に決定を行っている。職員に対しての研修もしている。また、必要に応じて子どもや保護者に説明を行い理解を得たうえで個別支援計画に記載を行っている。	